

2025年度 第1回教育課程編成委員会 議事録（案）

1) 日 時：2025年10月27日（月） 14時00分～15時00分

2) 場 所：YICS t u d i o 2号館21・22教室

3) 出席者：外部委員

議長：柏村 偉大様

委員：

本校教職員

校 長 河津 道正

副校長 小田 政江

事務長 日當 泰浩

公務員総合学科学科長 青木 敏春

教務課長 森野 茂弘

4) 次 第

(1) 校長あいさつ

(2) 配布資料等確認

(3) 本校の取り組み状況説明（公務員総合学科）

学校側は、公務員試験の教養試験に重点を置いた授業から、職業理解や自己啓発、社会に出てから役立つ授業へと内容を変える取り組みを進めている。

授業内容および学習時間の効率化（令和7年度1年生より実施済み）

- 特定科目の時間数削減: 公務員試験対策の主要科目である「数的推理」と「判断推理」について、以前の3単位から2単位に削減した。これは時間数に換算すると30時間の短縮に相当し、授業の効率化と、短時間で効率よく勉強させることを目的としている。
- キャリア科目の新設: 削減した時間数を活用し、就職準備を早期に意識させるための新しい選択科目「キャリアデザイン」を新設した。この科目では、身だしなみやマナー、さらには将来設計に関するマネープランといった内容を取り入れ、早い時期から就職に向けた準備意識を高めることを目指している。

将来的なコース編成の検討（来年度以降に向けた試み）

- 学力の低い学生への対応策として、公務員総合学科（2年課程）において、警察官や消防といった特定の職種に特化した名称のコースを設け、2年間かけてじっくりと職業理解を深め、勉強できる環境を提供することが検討されている。
- このコースでは、筆記試験対策に加えて、**体力面での運動（運動をさせる）**なども含めることが想定されている。
- 学校側は、学生がコース名に「警察」や「消防」といった職種名があると、「そこに特化している」と感じ、そちらのコースに目が向く傾向があることを認識しており、専門学校としての独自性を出すことを目指している。

（4）意見交換（外部専門家からの助言）

外部の専門家からは、「公務員に求められる実務的なスキル」「専門学校としての独自性」「学生募集やコース編成の戦略」という3つの主要な側面に関して、貴重な洞察やアドバイスが寄せられた。

1. 新社会人として身につけるべきスキルと資質

- コミュニケーション能力と相談力: 仕事はチームで行うものであるため、コミュニケーションが非常に重視されている。新社会人として、コミュニケーション能力や、困った時に相談できる力を育むべきである。
- パソコンスキル（Word/Excel）の必要性: 今の時代、Excelやパソコンのスキルは必ず必要になってくる。職種によって求められる仕事内容は異なるため「単一の資格は存在しない」ものの、WordやExcelの資格は持っていた方が良いとの見解が示されている。

2. 専門学校としての独自性と予備校との差別化

- 専門学校が単なる受験対策校（予備校）として見られないよう、明確な「あり方」が求められている。
- 専門学校は本来、まず職業があり、それになるための職業教育を行う場所であり、公務員教育においてもその独自性を出すことが重要である。
- 「実学教育をしている」と謳うからには、単なる予備校とは違う、「キラリと光るもの」が求められる。
- コース名称の影響: 警察官や消防といった特定の職種名がコース名に入っていると、学生は「そこに特化している」と思い、そちらのコースに目が向くのは当然であるとの指摘があり、学力の低い学生向けコースを検討する上での工夫の必要性が示唆された。

3. 保護者への情報提供に関する戦略

- 説明会などで、学生と保護者を分けて説明を行うと、保護者からは「よく分かった」という反応が多く得られるという経験が共有された。
- 特に学費や奨学金などのお金に関する細かい話については、保護者だけを集めて説明する機会を設けるべきであると助言された。

（５）連絡事項

本年度第２回委員会は、２月～３月頃開催予定（開催日時は調整の上決定）。